

'96 土佐のまほろば祭り

走りだそう
すべてを未来に



- とき 8月3日(土) (雨天順延) 午後3時~9時(予定)
- ところ 北江 北部スポーツレクリエーション施設
- アトラクション
 - 開学高校吹奏楽部、香土中 学校音楽部演奏
 - お菓子が空から降ってくる

- 大滝音頭
- 南国お祭り
- 花火大会 午後を予定
- まだまだ発表できないお楽しみイベントが盛りだくさん
- ※お問い合わせは商工水産課
- 「まほろば祭り事務局」(西市役所内線361・362)まで



県民スポーツフェスティバル

生涯スポーツの振興と余暇の充実、体力づくりのため、下の日程のとおり開催します。
 参加資格 平成8年5月1日から市内に在住し、住民登録を有する人で、フリーの部は昭和53年4月1日以前に生まれた人。一般の部は昭和41年3月31日以前に生まれた人(ただし、生徒・学生は除く)。
 ※参加希望者は、種目ごとに決まっている申し込み締め切り日までご市民体育館(南国市大塚甲二二二五番)3498へ、申し込みは電話も可

※8月2日(金) 申し込み締め切りの競技

種目	とき	ところ
綱引	9月8日	トンビア高知体育館
ターゲットバードゴルフ	"	箕山村総合センターグラウンド
カヌー	9月15日	本山町河川全山公園カヌー特設競技場
ソフトテニス	9月21日	長立町総合運動公園テニスコート
ボウリング	"	とてんボール
グラウンドゴルフ	"	とてんボール
スポーツチャンバラ	"	箕山町B&Gセンターグラウンド
スイム・ラン	"	長立町総合運動公園プール・競輪上野球場

※8月26日(金) 申し込み締め切りの競技

種目	とき	ところ
バウンドテニス	9月22日	南国市総合体育館(絵巻)
ベタンク	"	長門町民グラウンド
サイクリング	10月20日	長門町民グラウンド



※12月13日(金) 申し込み締め切りの競技
 ▶スキー
 とき=平成9年1月19日(日)
 ところ=天狗高原スキー場

●同和教育Q&A

と疑問に答えて④

◆何も知らない子どもたちに同和教育をすまうか、差別がなくならないのではないかと? (その二)

「差別の壁」を打ち破るために
 「今の若いものは部落差別を知らない、知らないものにわざわざ教える必要はない」という意見をよく耳にします。はたしてこの考えは正しいのでしょうか?

「いつか私の母親が言いました。『なんで部落の勉強があるが? いわんかったら知らんのに』この言葉は一見正論のように聞こえます。でも、『いわんかったら知らん』(注:これは事実ではありませんが、次回に述べます)ということからは、もし部落問題にぶつかった時になすべを知らないということになり、部落問題は振り出しにもどってしまふ。知らないままでは前には進めないことに改めて気づきました……」

同和教育講演会感想文の一部です。
 この高校生の指摘にもあるように、現実には差別はあり、若者はその「差別の壁」にぶつかっているのです。結婚を例にとりますと、確かに部落と部落外の結婚は増えてきました。ある自治体では前年割合がそれだという事例があります。しかし、結婚にこぎつけるまではその三分の二以上が反対(結婚差別)にあっているのです。その時、部落差別を打ち破るだけの知識を持ち、正しい対処の仕方を知っているか、さきほどの高校生は次のようにも書いています。
 「本当はだれでも、差別なんかしたくないし、されたくない。でも、いろんなところで現実起きていて、それは、心の痛みを一緒に

同和教育シリーズ

第41回四国地区同和教育研究会(高知大会)

■とき 7月4日(木)・5日(金)
 ■ところ (全体会) 高知県民体育館 (分科会) 高知市内14会場
 同和教育の当面する課題とこれからの部落問題解決への実践の道すじを明らかにすることを目的とする研究大会です。お問い合わせは、教育研究所内南国市同和教育研究協議会事務局(西市役所内線316)まで

II 南国市総合計画 II

土佐のまほろば あったか南国市 ④



十大基本目標 シリーズ②

地球の真ん中南国市の顔づくり

国際化や情報化時代の到来は、地球規模で物事を発想していく時代です。本市の優れた歴史や伝統などを継承しながら、二十一世紀に向けて「新たなまほろば」を創造していくためには、南国市の存在感をしっかりと自覚して、主張していくことが大切になってきます。
 小さくてもキラリと輝き、豊めく南国市を市民とともに創造しながら、南国市でなければできないこと、南国市だからこそできることを

(1) 南国市の顔づくり
 世界に唯一しかない「南国市」の存在感を主張していくため、個性と特性を生かした顔づくりを試みます。
 ○キャッチフレーズ「土佐のまほろば・あったか南国市」のアピール
 ○「土佐のオナガドリ」のシンボルキャラクター化
 ○「土佐日記」のもつ日記文学・ひらがな文化の発信
 ○「租税特例免除の町」の「ごめん」のネーミング

(2) 南国市のイメージアップ
 南国市のイメージを高めることにより知名度を広め、個性や特性を全国に発信することで定住人口、交流人口の増加を図ります。



(3) 市役所のイメージアップ

まちづくりは市民と市役所との共同作品です。このため、市民に信頼され、親しまれ、市民のために働く市役所として、職員一人ひとりが創意工夫を凝らし、

(4) 若者のまちづくり
 若い時代を支える若者が、この南国市に根をはり、地域の一員としてともに歩んでくれる受け皿づくりが必要とされます。
 若者文化拠点 位置づけ、若者が学術、生活、文化創造の先導的な役割を果たし、明日への活力を生み、魅力を創造していく、若い文化の醸成拠点とする都市文化を創出します。
 ○子どもたちの科学する心やロマンの育成と若者の科学技術とのふれあいの追及
 ○若者の活力が、新しい産業と文化の創造へと発展するよう可能性の追及
 ○各種団体の青年部の組織づくりとネットワーク化
 ○若者に魅力とにぎわいのある快適な居住環境のまちづくりの再生
 ○若者やUターン者の受け皿づくり
 ○健全な青少年の育成
 ○まちづくり政策形成過程への若者の参画